

このたびは、弊社LED電源装置をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。

**施工者様へのお願い**

電源装置の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、工事店、電器店(有資格者)が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。工事後、この取扱説明書は、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

**お客様へのお願い**

ご使用になる前に、この取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後、この取扱説明書は大切に保管し、必要などきにお役立てください。

**施工者様及びお客様への安全上のご注意**

**警告** 誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負うことが想定される内容を示します。

電源装置は下記の使用環境、条件では使用しないでください。間違えて使用すると火災、感電のおそれがあります。

- ・周囲温度が指定温度を超える所
- ・湿度が85%を超える所又は水気の跳ね返る所
- ・腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる所
- ・振動、衝撃の多い所
- ・粉塵の多い所

電源装置の構造を変えたり、ケースを開けたりしないでください。火災、発火、感電のおそれがあります。

保守点検などの際は、必ず電源を切って行ってください。感電のおそれがあります。

万一、煙、異臭など異常を感じたら、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。異常状態のままで使用すると火災、発火、感電のおそれがあります。

**注意** 誤った取扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される場合及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 電源装置は、必ず適合するLEDランプ(電源装置の銘板に表示)と組合せてご使用ください。LEDランプの破損、短寿命、電源装置の短寿命の原因となる可能性があります。
- 布や紙、断熱材を電源装置の上に置いたり、かぶせたりしないでください。温度が高くなり、保護機能が動作したり、火災の原因となる可能性があります。
- 冬季など、長時間使用しない施設では、周辺の湿気により絶縁が低下し、漏電、感電の原因となる可能性があります。湿気対策として定期的に通電してください。
- 安全に使用するため、3年に1回は工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら、交換してください。寿命末期(一般に寿命の目安は8~10年)には発火、発煙、異常発熱の原因となります。

**商品に関するご相談窓口**

お問合せの際は、電源装置銘板又は施工記録表に表示してある形式をご確認のうえ、下記までご連絡ください。  
**【CSセンター】** TEL 048-554-1124 FAX 048-554-7445  
 お問合せ受付時間：月～金/9:00～17:00(土・日曜・祝日・年末年始・当社休業日を除く)  
 ※電話番号等、変更になる場合があります。ホームページでご確認ください。

**施工者様への安全上のご注意**

**警告** 誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負うことが想定される内容を示します。

- 湿気の多い所や水のかかる所には設置しないでください。
- 電線の絶縁体に刃物などによる傷をつけないようにしてください。絶縁破壊による火災、漏電、感電のおそれがあります。
- 電源装置の出力線側に器具を接続しない状態で放置しないでください。確実な絶縁処理をせず未配線のままで電源を入れますと、電線が焼損し火災のおそれがあります。
- 管灯回路内に中間ジョイントとして、コンセントなどの接続器を使用しないでください。絶縁破壊により火災のおそれがあります。

**注意** 誤った取扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される場合及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 電源装置の取付け、配線は施工説明書に従い結線は電源装置の銘板に表示してある接続図とおりに確実に行ってください。間違えて取付け、配線しますと電源装置の落下、焼損又はLEDランプの不点灯、破損などの原因となることがあります。
- 電源装置は接地工事が必要です。入力又は出力電圧が300V以下のものは、D種接地工事を「電気設備技術基準」に準じて施工してください。接地工事をしないと感電の原因となることがあります。
- 周囲温度は指定温度以外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。



**保守上のご注意**

- LEDランプ交換や電源装置の保守点検時には安全上のご注意を再度ご確認ください。  
 ※電源装置の保守点検について…安全のため、保守点検作業はできるだけ施工者にご依頼ください。

**商品の保証について**

- 電源装置の保証期間は、商品お買上げ日より3年間です。  
 ※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分とします。  
 ※詳細は弊社カタログをご参照ください。

**保守のための記録**

工事完了後、今後の施設の安全維持のため、【施工記録表】の各欄に記入のうえ、お客様へお渡しください。

施工記録表			
工事名			
工事店名	取付台数	使用電圧	
電話番号	LED電源形式	ブレーカーNo.	
取付年月	使用LEDランプ	使用器具	

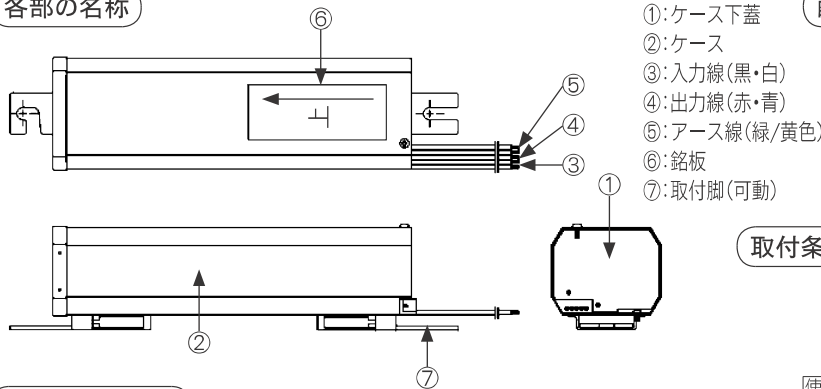
# LED定電流電源装置 施工説明書

## 製品概要

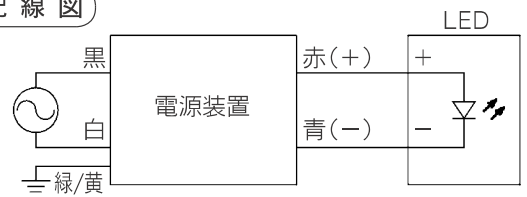
電源型式	適合LED器具	電源必要数	仕様	定格入力容量	定格出力電流	使用周囲温度	管灯回路長	質量
LE148115HS 1/2.4-A1	E 30403N(M,W)/N(L) E35103W/N(L) E35203W/N(L)	1	100/200/242V共用 (94~106V, 188~256V) 50/60Hz共用	165VA(100V) 166VA(200V) 168VA(242V)	DC 1.15A	-20~40℃	50m まで	3.0 kg
	E30501M(W,SW)/N EHCL31201SN/N	2		313VA(100V) 320VA(200V) 328VA(242V)				
	EHCL38201SN(M)/N	2		382VA(100V) 384VA(200V) 390VA(242V)				
	E35301S/N	1		131VA(100V) 137VA(200V) 142VA(242V)				

LED器具により、電源必要数が異なりますので、ご確認下さい。また、定格入力容量は、電源数分の合計容量となっております。上表の使用条件を守って使用して下さい。間違えると電源装置の短寿命などの原因となります。

## 各部の名称



## 配線図



## 取付条件

	垂直取付	水平取付	横向取付
使用場所			
屋外	○	×	×
屋内	○	×	○

## 電源装置の取付

- ボール内で使用する場合は温度の確認が必要です。
- 取付前に電源装置の質量に耐えるよう、取付部の強度を確認して下さい。
- 電源装置は右上の取付条件で、取付脚を取付ボルトで確実に固定して下さい。
- 造営材から10mm以上離して設置して下さい。
- 電源装置を2台以上並べて設置する場合は、ケースの幅以上離して通風に注意して下さい。
- 電源装置をボール内に設置する場合は、水抜き工事をして、絶縁が低下しないようにして下さい。
- 天井裏などに設置する場合は、容易に点検できるように施設して下さい。これは、火災の危険を防止し、定期点検、異常時の処置をおこなうため「電気設備技術基準」で定められています。

## 電源装置の配線

- 電源装置の配線は、600Vビニル絶縁電線と同等以上の絶縁性能を持つ電線を使用し、接続箇所は圧着スリーブなどによって結線後確実に絶縁処理をおこなってください。屋外で使用する場合は、接続部を自己融着絶縁テープ等で防水性のある絶縁被覆処理を確実に施してください。不十分な場合、火災・漏電・感電の原因となります。
- 適合LEDは、極性があります。LED電源の+, -の極性を器具と合わせ接続してください。

## 注意

配線は電源装置の銘板、取扱説明書に表示してある接続図通りに確実におこなってください。

電源線2本(黒、白)、出力線(赤、青)の計4本です。

※既設が3線式の場合は、そのまま使用できません。

2灯用水銀灯安定器、3線式水銀灯安定器、出力線のマイナス側が共通の配線、入力側の片側と出力側の片側が共通の配線のままでの交換は故障の原因となりますので絶対におこなわないでください。

## 使用上のご注意

- 電源装置の保護機能について、以下の動作になります。
  - ・ 電流ヒューズ(非復帰形) リセット条件: なし
  - ・ 温度ヒューズ(復帰形) リセット条件: 自動復帰
  - ・ 無負荷保護機能 リセット条件: 電源約1分遮断後、電源再投入
 無負荷を検出すると瞬時に保護機能が動作し、出力を停止します。その後、出力電圧が約1分かけて低下します。
- 電源装置の銘板に表示された電源電圧(変動範囲内)、周波数以外の電源で使用しないでください。電源装置、LEDランプの短寿命の原因となります。
- LEDランプ交換は必ず電源を切ってからおこなってください。無負荷電圧によりLEDランプが破損する可能性がありますので、通電状態でのLEDランプ交換はおこなわないでください。
- 旧タイプの漏電ブレーカではトリップする場合があります。この場合は高周波対応形漏電ブレーカをご使用ください。ご使用する場合には、感度電流の設定値にご注意ください。
- 電源装置には寿命があります。設置して長期間経過すると、外觀に異常が無くても内部の劣化は進行します。保守・点検・交換をおこなってください。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、購入元・工事店へ相談してください。
- 電源装置は、高周波で駆動しているため、高周波の電磁ノイズが発生します。この電磁ノイズにより、音響、映像、無線機器などに影響を与える場合がありますので、周囲の状況をご確認のうえ、設置してください。特に管灯回路長が長い場合、外部ノイズの影響を受けやすくなる場合がございます。